Toei Animation Co., Ltd.

東映動画株式会社・映像事業部
〒160 東京都新宿区新宿5-17-11 白鳳ビル TEL03(200)8587㈹

©鎌田敏夫・角川書店・角川春樹事務所/1989 東映動画・マイクロニクス

FOR SALE and USE IN JAPAN ONLY
本品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。

ファミリー コンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

任天堂 ファミリー コンピュータ™

FAMICOM FAMILY

取り扱い説明書

TDF-91

このたびは東映動画ファミリーコンピュータ用ゲームカセット"新・里見八犬伝"をお買上げいただきまして、誠にありがとうございました。御使用の前に取り扱い方、使用上の注意など、この"取扱説明書"をよくお読みになって正しい使用方法でお楽しみください。

[使用上の注意]

- このカセットには、バックアップ機能が付いています。セーブした大切なデータを壊してしまうことの無いように、必ずリセットスイッチを押しながら、電源を切ってください。また、本体の電源をいれたままでカセットを抜き差ししたり、むやみに電源スイッチをON・OFFしたりしないでください。
- 端子部に手を触れたり、水に濡らしたりしないでください。
- 極端な温度条件での使用や保管、強いショックなどは避けてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油で拭かないでください。
- ゲームをしない時は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。
- テレビ画面からできるだけ離れてプレイするようにしましょう。また、一時間に10分ぐらいの割合いで休憩をとるようにしましょう。

目次

[1]ゲームの目的…………P 5
[2]マルチスタートについて·P 5
[3]コントローラ各部の名称と操作方法……P 6
[4]ゲームスタート………P 8
[5]フィールドの説明……P12
[6]ゲーム中のコマンド··P15
[7]戦闘モード……………P18
[8]アイテムについて……P21
[9]呪文・法力……………P23
[10]味方キャラクター……P27
[11]敵キャラクター………P31
[12]初心者のかたへ………P33

［ストーリー］

血がにじんだようなどんよりとした赤い月が暗黒の闇夜に浮かぶ時……。
百年来の怨念に決着をつけるため、幻人、白井妖之助、泡雪奈四郎、籠山逸東太、蟇田素藤、そして『玉梓』………次々と深き眠りから目覚めていく闇の軍団。

闇は闇に溶け、ひたひたと押し寄せる闇は人々の運命を狂わせて行った。

空には暗雲がたちこめ、夜には不気味な叫び声がどこからともなく聞こえる様になり、山に入った者は帰って来ず、村や町では原因がわからないまま消えてしまう者や突然、気が狂ったかのような振舞いをする者が出るようになった。

人々は闇におびえ、苦しんでいた……。

村の長老と呼ばれる人々は、昔、闇と戦ったという言い伝えのことを思い出していた。

それは、「光の一族」のことである。光の一族は闇と戦うことの出来る者達であり、そして、その中心となる者だけが闇を封じることが出来るという。
そしてここに、やはり闇によって運命を狂わされ、苦しむ八人の若者がいた。
犬山導節、犬坂毛野、犬村大角、犬塚信乃、犬飼現八、犬田小文吾、犬川荘助、犬江新兵衛。彼らはまだ、自分の定めに気づいてはいない……だが、彼らは絶望の縁から立ち上がらなくてはならない。
彼らこそが「光の八犬士」なのだから……

[1]ゲームの目的

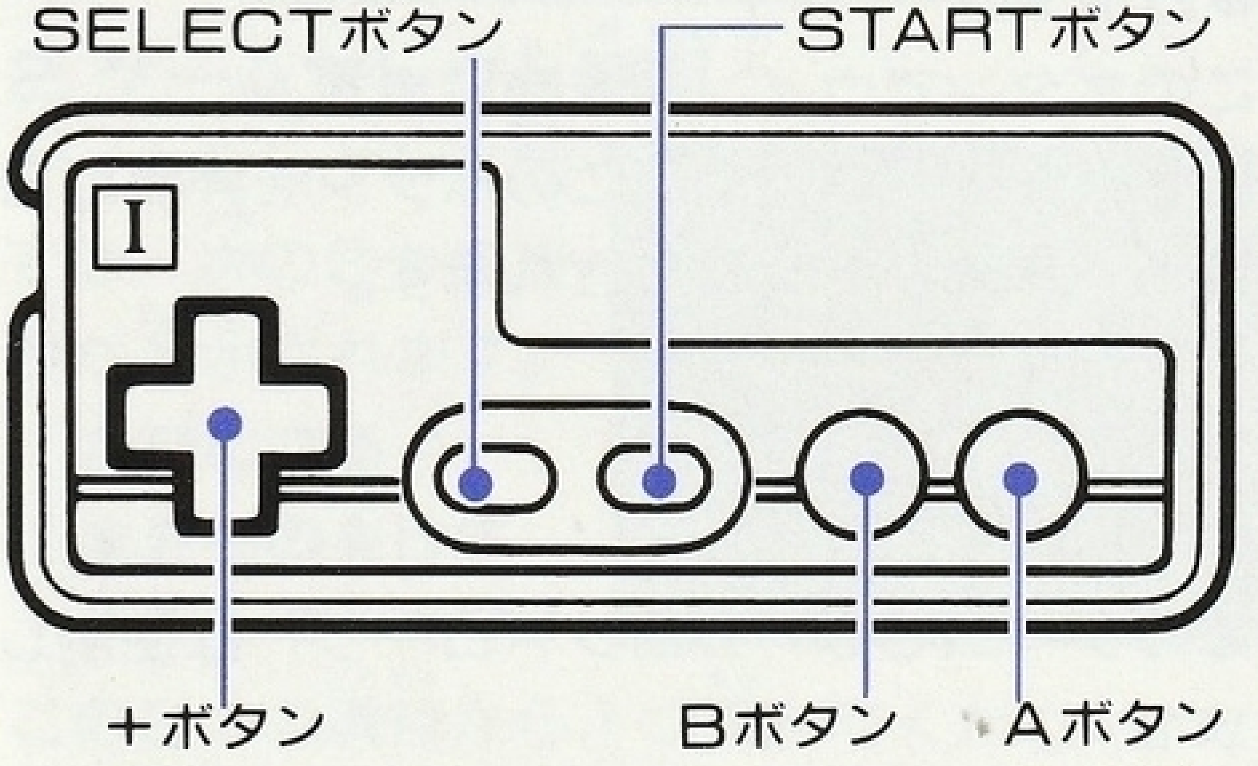
あなたは「光の八犬士」の一人となります。そして、人々の話す情報などから、他の八犬士を全て捜し出し、闇を封じることの出来る唯一の人間である里見の「静姫」のもとに集め、戦いの準備をととのえます。
ここでもっとも重要なことがあります。それは、闇を封じるための“ある物”を必ず手にいれておかなくてはならないということです。これがそろえばいよいよ闇の軍団との大決戦です。ゆくてをはばむ闇の軍団の武者や妖怪と戦いつつ、情報を集め、力をたくわえて、闇の軍団の頂点に立つ『玉梓』を倒し、人々に光と平和をもたらしてください。

[2]マルチスタートについて

「新・里見八犬伝」はマルチ・スタートになっています。
あなたは、スタートの時に『仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌』の8つの玉の中から好きな玉を選びます。その玉一つ一つにキャラクターが振り分けられていて、あなたが選んだ玉を持つキャラクターがスタートするキャラクターとなります。
このゲームでは、スタートするキャラクターによって、ストーリーの進み方が変わって来ます。これを「マルチ・スタート」と言い、一度ゲームをクリアした後でも、またキャラクターを換えてゲームを楽しむことができます。8つの玉すべてをクリアするのも楽しいですよ。ぜひ挑戦してみてください。

[3]コントローラ各部の名称と操作方法

[Ⅰコントローラ]



●十字ボタン

キャラクタの移動に使用します。
また、ウインドが開いている時はカーソル（▶）の移動に使用します。

●SELECTボタン

スタートの時、スタートかコンティニューかを選択します。

●STARTボタン

このボタンを押してスタートします。

●Aボタン

このボタンでウインドを開きます。
十字ボタンで選んだコマンドやアイテムを決定します。

●Bボタン

このボタンでウインドを閉じます。
自動戦闘モードでは、このボタンを押せば自動モードはキャンセルされます。

［IIコントローラ］

このゲームでは［IIコントローラ］は使用しません。

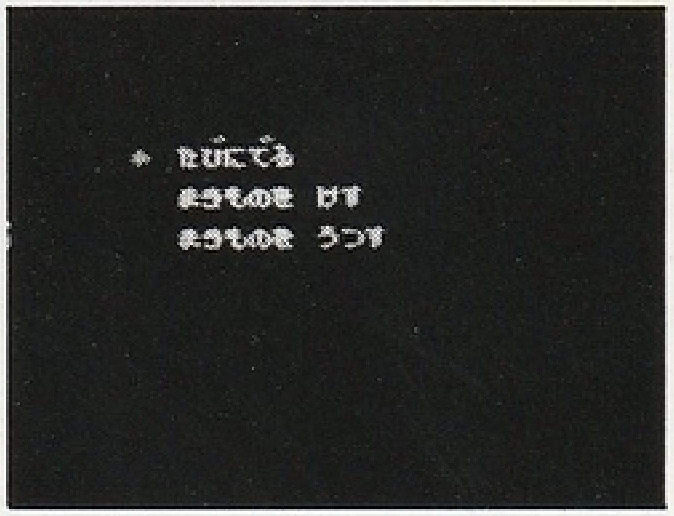
［4］ゲームスタート

1.タイトル画面

ファミコン本体の電源スイッチをOFFにした状態でカセットをさしこみ、電源スイッチをONにすると、短いデモの後タイトル画面が表示されます。
この時スタートボタンを押すとゲームセレクト画面になります。

2.ゲームセレクト画面

ゲームセレクト画面では、次の３つの項目が表示されます。



たびにでる
まきものをけす
まきものをうつす

この３つの項目から１つ選んでください。

［まきものをけす］

セーブしてあるデータを消します。
この項目を選択した後に消すまきものを選びます。（まきものを消すときは、まちがいのないよう注意してください）

［まきものをうつす］

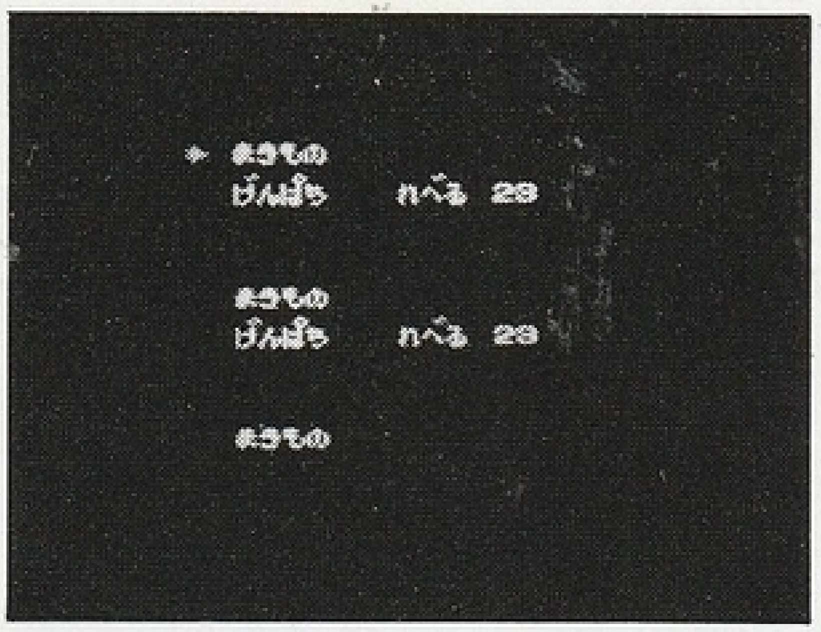
セーブしてあるデータを、他のまきものにコピーします。使っていないまきものがない時には、コピーできません。

［たびにでる］

この項目を選ぶと、本当のゲームスタートになります。このコマンドを選んだあとのまきもののセレクト画面で、すでにセーブしてあるまきものを選ぶとそのつづきができます。まだセーブしていないまきものを選ぶと『玉』のセレクト画面になります。

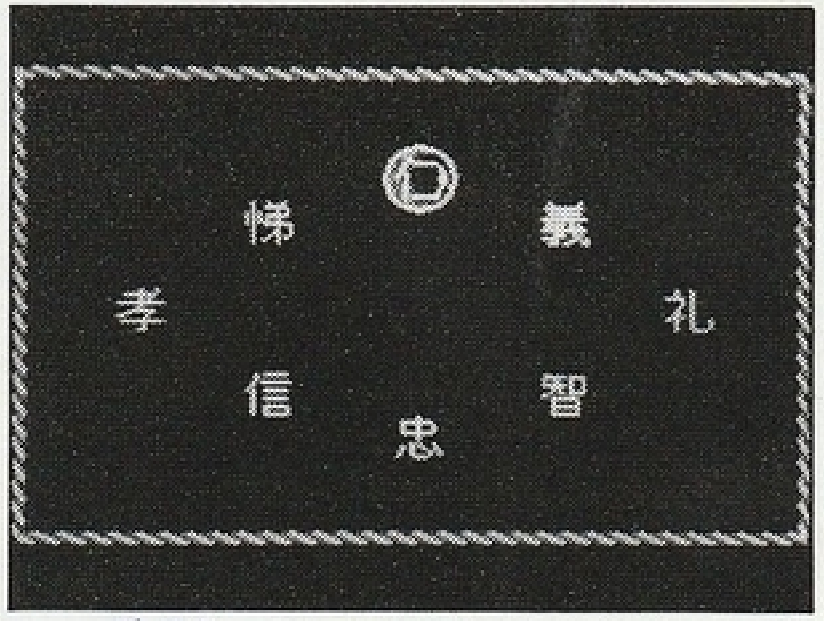
●まきもののセレクト

３つの項目の内のどれかを選んで決定するとまきもののセレクト画面になります。
カーソルで選んでＡボタンで決定してください。Ｂボタンを押せばゲームセレクト画面にもどります。



●玉のセレクト画面

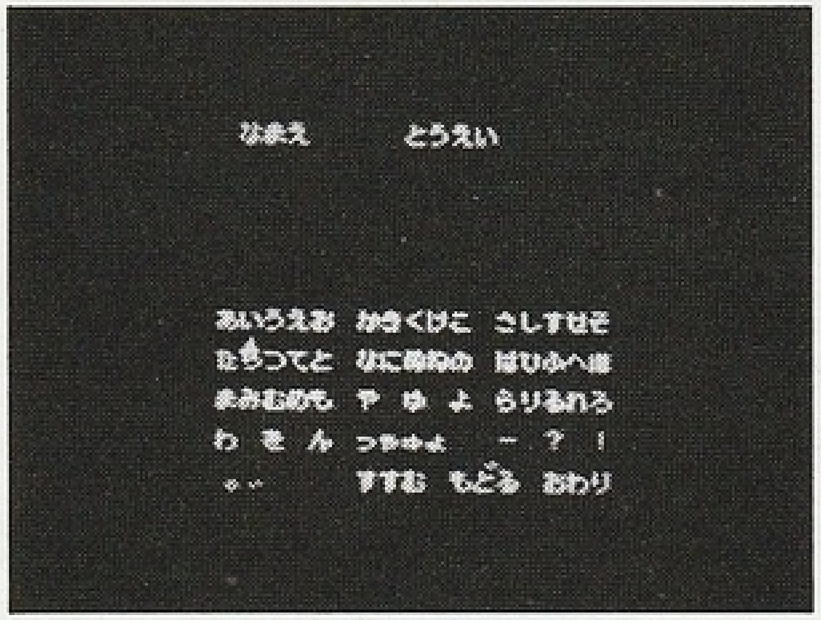
始めてゲームをする人や、新しくまきものを作った人は、この画面でスタートするキャラクターを選びます。
十字ボタンの左右で玉を選んで、Ａボタンで決定します。



●名前入れ画面

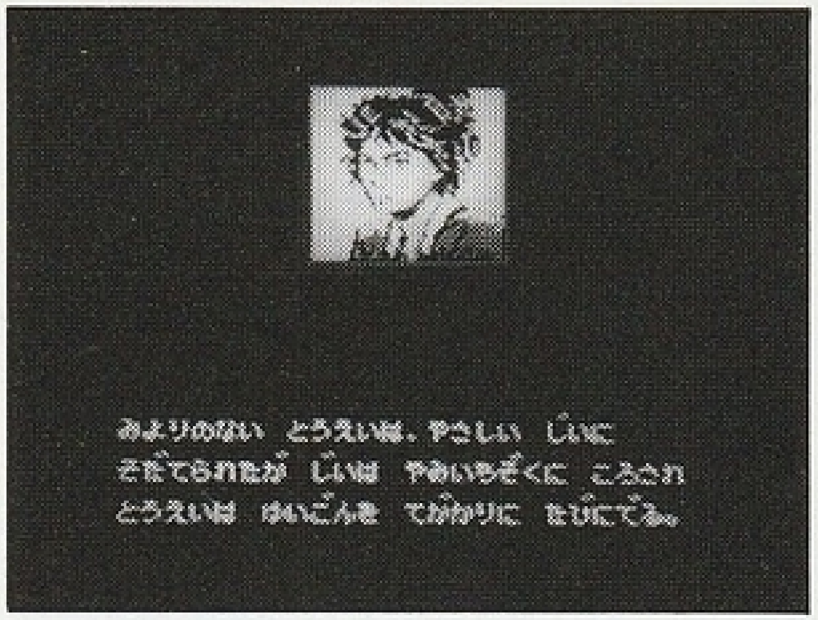
玉を選んだら次にキャラクターの名前を設定します。
十字ボタンの上下左右で矢印をあわせ、Ａボ

タンで決定します。入力する文字を間違えた場合は「もどる」で訂正することができます。名前は最大4文字まで登録できます。



●プロフィール紹介画面

名前の登録がおわったら、あなたの選んだキャラクターのプロフィールが紹介されます。

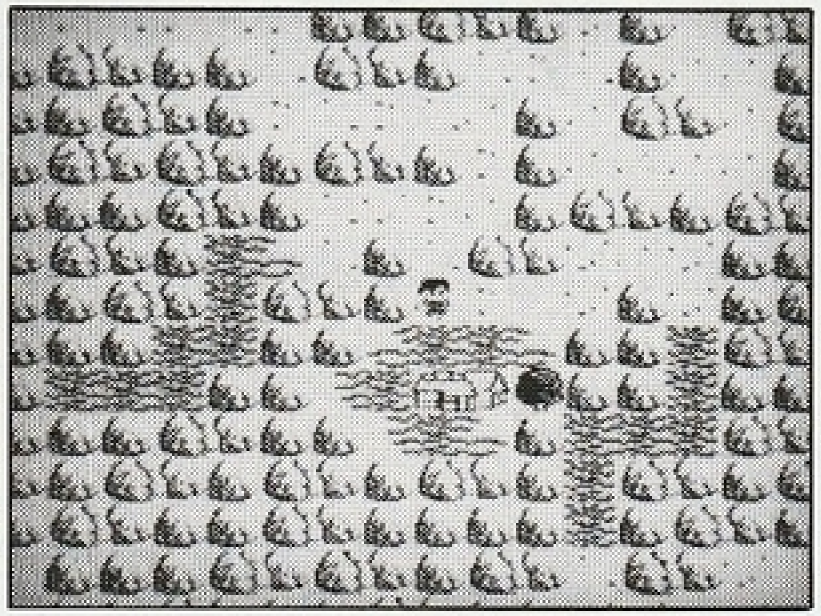


さあ、いよいよ

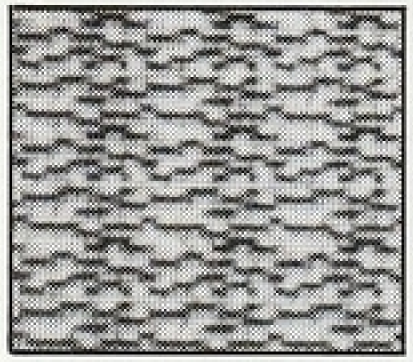
「新・里見八犬伝」のスタートです!

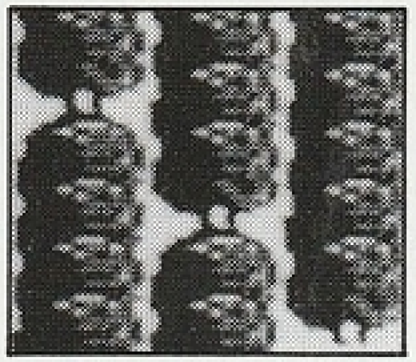
[5]フィールドの説明

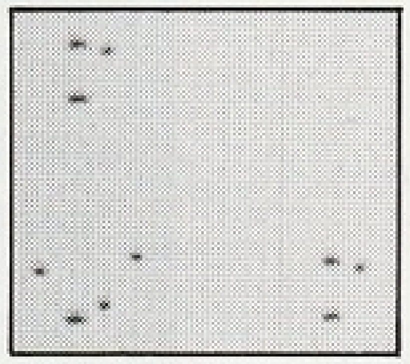
ゲームの基本となる画面です。



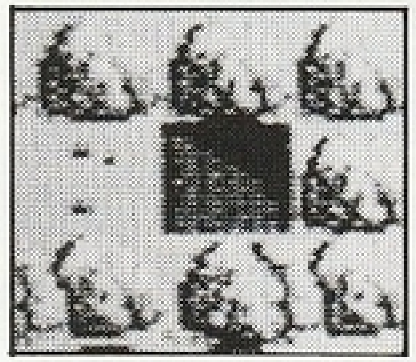
この画面上を歩き回って情報を集めたり、敵の根城などをさがします。


草原

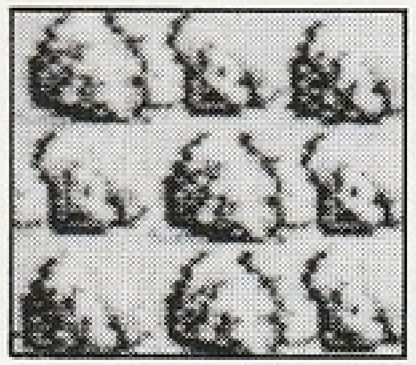

森

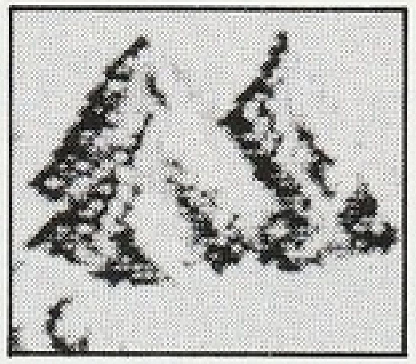

砂地

*自由に歩くことができます。


どうくつ

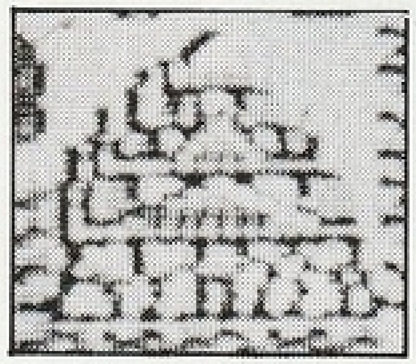
深く暗いどうくつです。こういう所は妖怪などが好んで住んでいることがあるので注意が必要です。



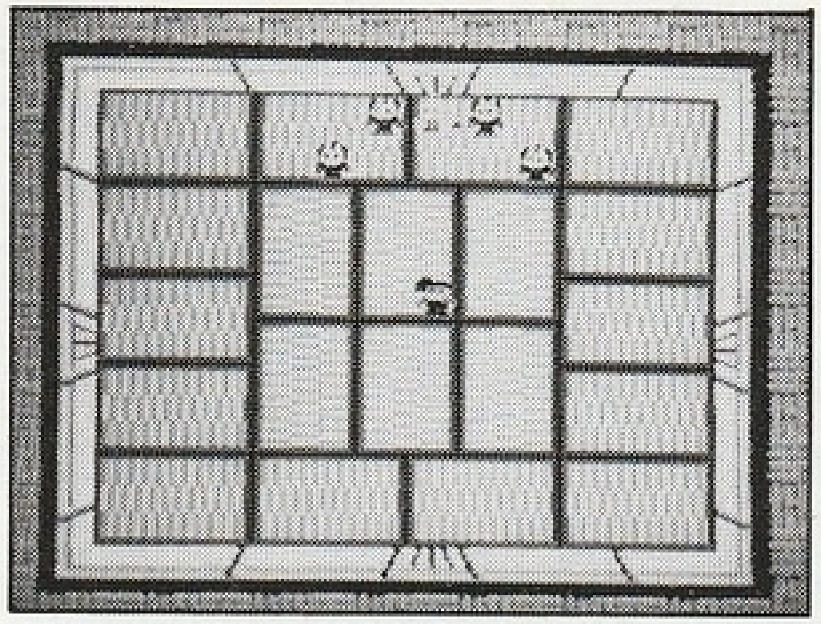


岩場　**山**　**海・川**

＊これらの場所には入れません。



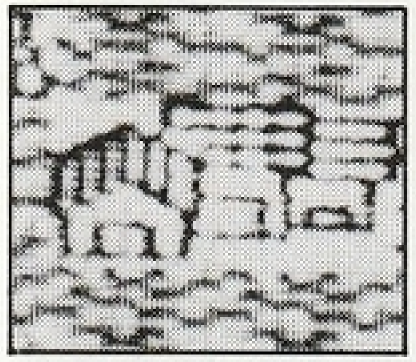
お城

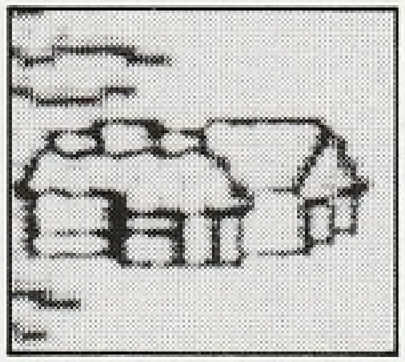


ここにはお殿様がいて「八犬士」であるあなたにいろいろ協力してくれます。

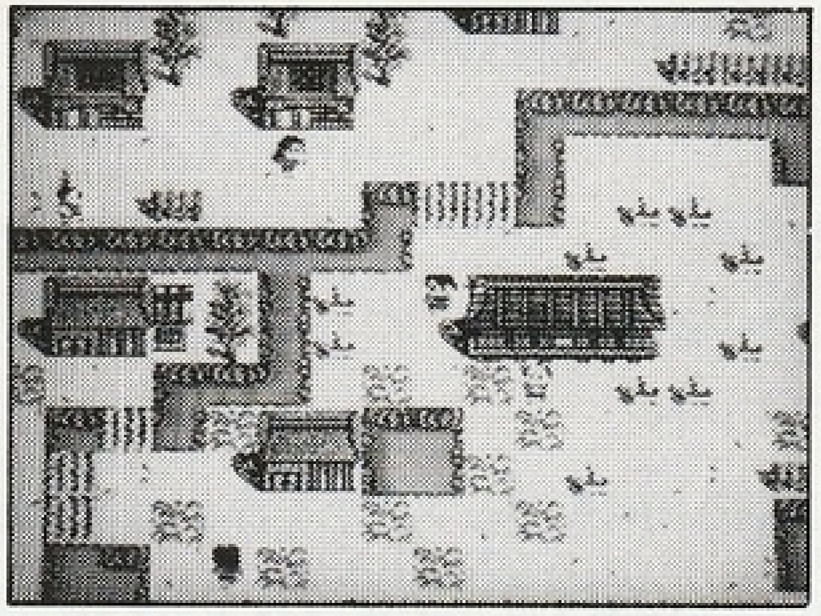
　ここでは、あなた達が次のレベルになるのに必要な経験値を教えてもらえます。
また、「たびのきろく」を書き記す（データのセーブ）ことやゲームの中断（きょうはここまで／）もここで行います。

＊注意：ゲームを中断して本体のスイッチを切るときは〝必ず〟ここで『やめる』を選んでからにしてください。（セーブしたデータが壊れるおそれがあります）





村　**町**



村や町では、ひとびとが生活しています。つかれた体を休めたり、武器や防具、薬草などを買ったりすることができます。

[6]ゲーム中のコマンド

ゲーム中のコマンドはメインコマンドとサブコマンドとにわけられます。
コマンドは基本的に十字ボタンの上下でカーソル(▶)を動かして選び、Aボタンで決定、Bボタンでキャンセルします。
また、サブコマンドの中には十字ボタンの左右でウインドウが切替わるものがあります。

[メインコマンド]

Aボタンを押すとこのコマンドのウインドウが開きます。メインコマンドは次の4つです。

はなす
つかう
みる
じゅもん

[サブコマンド]

メインコマンドを選ぶと別のコマンドウインドウが出るものがあります。
これがサブコマンドです。
アイテムの選択や呪文の選択などたくさんのサブコマンドがあるときは、カーソルの左右で別のアイテムや呪文に切り替わります。

[各コマンドの説明]

●はなす

主人公以外のキャラクターと話します。
十字ボタンで主人公を他のキャラクターの隣に移動させて、Aボタンを押し、ウインドウを開いて「はなす」を選んでください。

●つかう

これを選ぶと、サブコマンドとして「つかう」と「はずす」のコマンドがでます。
もちものを使ったり、装備をするときにはこの「つかう」を選んでください。そうするとアイテムのウインドウに変わりますので、装備するアイテムを選んでください。
このとき、他の人のアイテムを使いたい場合は、十字ボタンの左右で別の人の持物を表示させられます。
また、薬草などのように使う相手のあるものや武器を装備する時などには、パーティ全員の名前がでます。使う相手や装備する人を選んでください。
「はずす」のコマンドで装備をはずします。

パーティの各キャラクターの装備が表示されます。十字ボタンとAボタンで、はずす装備を選んでください。
「つかう」と同じく十字ボタンの左右で別の人の装備に変えられます。

注意：戦闘中にしか使えないコマンドもあります。

●みる

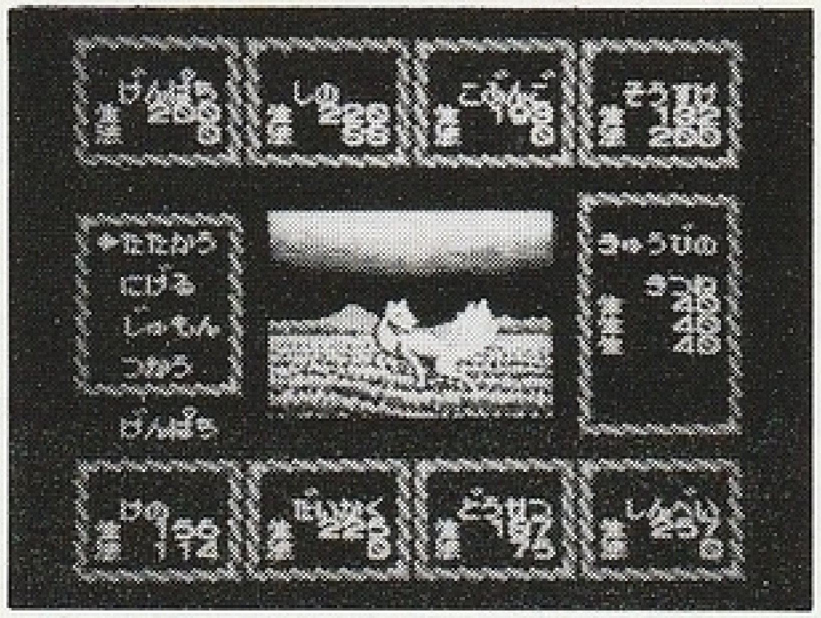
「みる」を選ぶとサブコマンドの「ちから」と「あしもと」がでます。
このとき「ちから」を選ぶとパーティ全員の名前が表示されますので、誰の「能力」を見るかをえらんでください。
「あしもと」を選んだ場合は、主人公の足もとを調べます。アイテムなどが落ちていた場合それを拾うことができます。

●じゅもん

このコマンドを選ぶと使える呪文が表示されます。使いたい呪文を選んでください。
また、十字ボタンの左右で他の人の呪文に変わります。戦闘中にしか使えない呪文がありますので注意してください。

[7]戦闘モード

フィールド上で敵に出会うと戦闘モードになります。



戦闘モードでは、まず「自動戦闘」かそうでないかを選びます。自動戦闘の時には「はい」ちがうときは「いいえ」を選んでください。

[自動戦闘モード]

自動戦闘モードでは、すべての敵を全滅させるまで自動的に戦い続けます。その時は回復の呪文などは使えませんので注意してください。
もし、味方の誰かがやられそうになったりしたときはBボタンで自動戦闘モードを解除して、回復の魔法などをかけてあげてください。
自動戦闘モードは、ある程度レベルが上がってから使ったほうが無難でしょう。

自動モードの選択がすんだら戦闘に参加させる人を選びます。

注意：誰かひとりは必ず戦闘に参加しなくて
　　　はなりません。

［戦闘中のコマンド］

戦闘中のコマンドは次の４つです。

たたかう
にげる
つかう
じゅもん

［各コマンドの説明］

●たたかう

装備している武器で戦います。

●にげる

戦闘からにげだします。
敵のレベルによっては逃げられないことがあります。

●つかう

フィールド上での「つかう」のコマンドと同じです。戦闘中にはつかえないアイテムもあります。

●じゅもん

呪文フィールド上で「つかう」のコマンドと同じです。戦闘中にはつかえないアイテムもあります。

［装備に関すること］

パーティ内での武器やアイテムの交換などは、フィールドを歩いているときに「つかう」コマンドを使って行ってください。
装備できるアイテムは、アイテム選択の後に「だれにそうびしますか？」と出てくるので、装備するキャラクターを選んでください。
装備の状態は「みる」、「ちから」で確認してください。キャラクターの状態によって防御力や攻撃力に違いがあります。

[８]アイテムについて

[武器]

武器は全部で28種類あります。
キャラクターによって武器の効果が違いますので、いちど装備して、力を確認してから使用してください。

主な武器

●かたな　一般的な武器です。
●薪割り　武器として使えば意外な威力を発揮します。
●村雨丸　昔より足利氏に伝わってきた刀で細身の刀としては最強です。
●種子島　今のことばでいう「鉄砲」のことです。かなりの威力を持ちます。

[防具]

防具は全部で15種類あります。
武器と同様にキャラクターによって効果がちがうので気をつけてください。
防具はヨロイと、カブトの２種類に分けられます。

主な防具

●短　甲　最も簡単なヨロイですが、多少の

攻撃には十分対抗できます。
●か　さ　普通のみのがさです。防御力はあまりありません。
●黒装束　忍者装束とも呼ばれます。特殊な糸を縫い込んで作ってあるため非常に軽く防御力も高いものです。
●南蛮胴　外国製の鉄でできた胴で、かなり高い防御力を持ちます。あの織田信長も愛用していたと言われる逸品です。

[法物]

これを身につけていると法力の効果を上げることができます。
●神涼の扇　中国より渡ってきたという霊力を持つ扇。仙人が作ったといわれています。
●光波の数珠　その昔、「役の行者」が龍と戦った時、手にいれた龍の玉から削り出して作った数珠。
大自然の力を味方にすることができるといわれています。

[9]呪文・法力

呪文は使うキャラクターによって様々な種類がありますので、各キャラクターの使う呪文をしっかりと覚えて使ってください。

犬山導節

呪文名	消費法力	効果
噴水	(05)	大気中の水分を集中させ、敵にぶつけます。
鉄砲水	(12)	噴水の威力が上がった物です。
飛翔水	(17)	近くにあるあらゆる水が敵を襲います。
龍牙水激	(28)	水が龍の牙のごとく敵をつらぬく!!
爆雷破	(22)	天空からの雷をあやつり、妖怪を討つ!
天地滅殺破	(68)	地上に降りし邪悪な者を消滅させます。
呪縛封印	(15)	敵の呪文を封じます。
阿好良薬	(04)	体力を回復します。

犬坂毛野

呪文名	消費法力	効果
怪鬼炎	(05)	大気より炎の粒子を集中させ敵に浴びせます。
炎玉破	(12)	大気より火球を生み出し、敵を燃やします。
変幻火龍	(22)	炎が龍となって、妖怪達をなぎ倒します。
火達磨地獄	(35)	妖怪に殺された人々の霊が炎となって敵を襲い、苦しめます。
暗黒照破	(52)	暗黒の闇に潜む者に光を浴びせ溶かします。
金縛り	(14)	強力な呪縛により敵の動きを止めます。
地空逃飛	(08)	地下や迷宮などから一気に脱出します。
阿好良薬	(04)	体力を回復します。

犬川荘助

呪文名	消費法力	効果
阿好良薬	(04)	体力を回復します。
早除苦悩	(08)	痛みを除き、体力を回復させます。阿好良薬より良く利きます。
延寿念祈	(16)	体力を回復する最大の法力呪文です。
天命蘇生	(32)	死んだ者の魂を黄泉の世界から呼び戻します。
魔滅天昇	(100)	妖怪軍団を天昇させます。もっとも慈悲深い法力呪文と言えるでしょう。
風の舞	(32)	どうしてもやられそうな時、敵の目をくらまして逃走します。
毒解熱	(04)	毒にやられたとき、この呪文で毒を体外へと放出させます。
帰光天	(32)	この呪文を唱えると帰りたい町や村に連れて行ってくれます。

犬坂信乃

呪文名	消費法力	効果
突風	(05)	突風を呼び敵に叩きつけます。
熱風砂塵	(22)	熱風により高温の砂塵を巻き起こして攻撃します。
真空斬り	(38)	真空を作り出し、敵をズタズタに切り裂きます！
破天荒	(78)	この世のものとは思えないほどの天変地異を起こし敵を倒します。
嵐風壁	(18)	目の前につむじ風を作り、身を守ります。
夢風幕	(28)	周囲すべてを竜巻でつつみこみ敵の攻撃を防ぎます。
竜巻返し	(42)	天にも届くほどの巨大な竜巻を呼び起こし、妖怪を吹き飛ばします。

[10]味方キャラクター

犬江新兵衛

2丁の鎌を振り回す野生児で、身のこなしはかなり素早い。いつか戦で手柄をたて、侍に取り立ててもらおうと考えている。
『仁』の玉を持つ。

犬川荘助

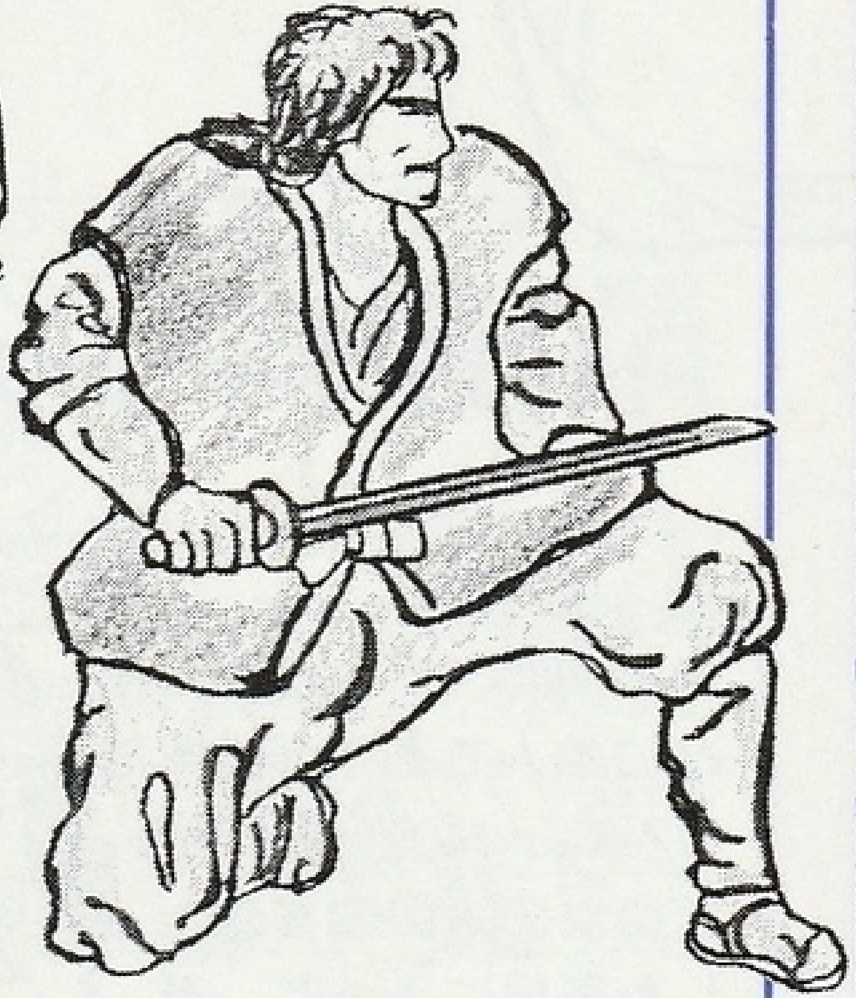
目も口も効けない不幸な境遇ではあるが、心優しい少年である。
『一節切りの笛』という『闇』の心を持つものをすくませる力をもつ荘助自身にしか吹けない笛を持っている。
『義』の玉を持つ。

犬村大角

あらゆる学問に通じており、火薬や武器などを作ることが出来る。
ゲーム中に『爆薬』等を開発してくれる、魔法を使えないキャラクターの味方である。
『礼』の玉を持つ。

犬坂毛野

静かな美女という感じであるが、外見に似合わず剣術の達人である。
実はクノイチだという噂もある。
『智』の玉を持つ。



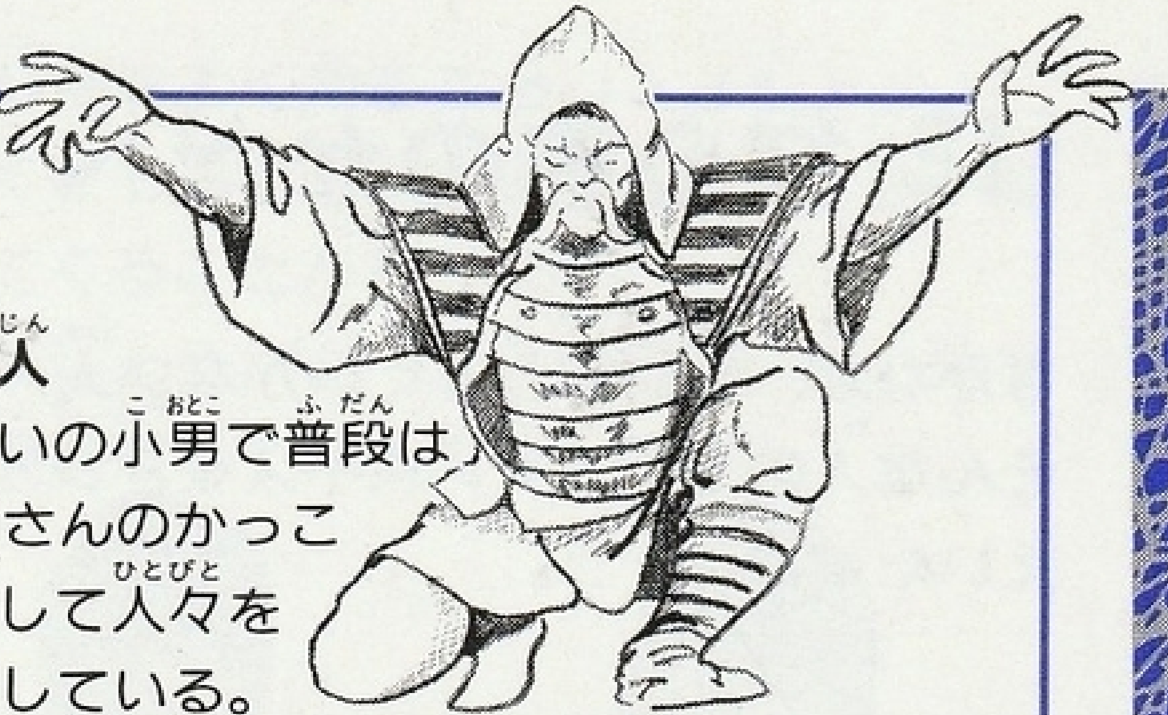
静姫

妖怪に襲われた『里見城』の唯一人の生き残りであり、八犬士の中心となる。
闇と戦うことのできる唯一の人間とされている。

[11]敵キャラクター

船虫

見た瞬間、はっとするほどの美人であるが、実は142歳(!)の老婆である。
若い女の人の血を満たした風呂に入って、若さを保っている。



幻人

毒使いの小男で普段はお坊さんのかっこうをして人々をだましている。
昔は、ある城主に仕える医者だったのだが、こともあろうに城主に毒を盛って狂わせた経歴がある。

玉梓

生前は絶世の美女であり、山下実包とともに滝田城でぜいたくな暮らしをして、農民達を苦しめていたが、里見義実によって滅ぼされた。
捕えられ刑場に引き出された玉梓は、首をはねられた…が、突然転がった玉梓の首が宙に浮かび、「おのれ、里見義実! われのこの恨み、うぬの領民、里見のすべての民にくれようぞ!! 女、子供、子々孫々の末にいたるまで畜生道に追い落とし、煩悩の犬として仇を報ずるから、そう思うがいい!!」という、すさまじい呪いの言葉を残し、息絶えた…といわれている。

[12] 初心者のかたへ

なかなか、戦いがうまくいかない人…
そんな人のためのアドバイスを2つ3つお教えいたしましょう。

●まず守りから固めること。

最初は体力が少ないので、強い敵と出会った時すぐにやられてしまうことが多いものです。
まず、守りから固めるのが良いでしょう。

●最初は町からあまりはなれぬこと。

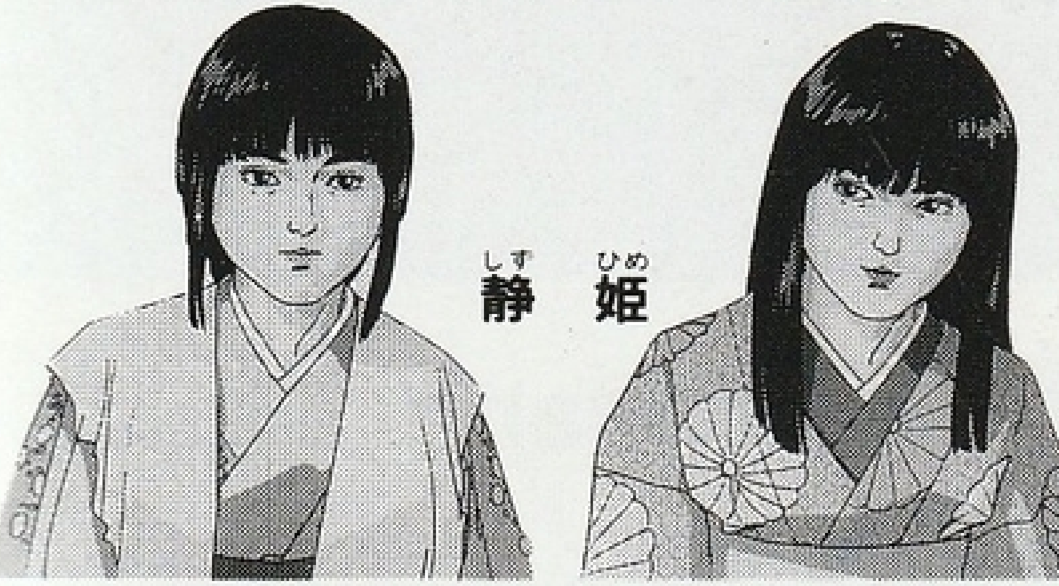
最初は宿に泊まれるだけのお金が貯まったらすぐに回復することです。十分に経験をつみ、戦い方をおぼえ、体力がつくまでは遠方に出ないのが良いと思います。

●武器はキチンと装備しておくこと。

あたりまえの事ではありますが、意外と忘れやすいものです。特に「新・里見八犬伝」の場合は、最初からけっこう良い武器を持っているキャラクターもいますので、スタートしたら必ず確認して装備しておくことです。

●敵の分布をよく知ること。

町の近くでも進む方向によって非常に強い敵が、出てくることがあります。
注意しましょう。(ゲームの最初に一度、死をかくごで偵察してみるのも手です)



静 姫

禁断のアドバイス

●スタートしやすいキャラクターを選ぶ。

こ、これは…言っちゃっていいんだろうか…じつは『スタートする町の近くに、お城がある』というキャラクターがいます。そのキャラクターを使えばちょっと進んで、すぐセーブすることが出来ますので、はっきり言って楽です。
ウラワザに近いやり方ですが、「どうしてもうまく行かない」という場合にのみ使ってください。